

## 総合計画策定に係る市民ワークショップ・ヒアリングについて

### 1 目的

策定のプロセスにおいて、ワークショップ・ヒアリングの手法を取り入れ、市民の目線で、志摩市の問題の所在や取り組むべき課題、目指す方向性を把握することを目的とします。

### 2 実施概要

市民ワークショップ	<p>リラックスした雰囲気の中で、自由に意見を出し合ってもらう「ワールドカフェ」形式のワークショップを開催し、市民が思い描くまちの将来像を把握する。</p> <p>ワークショップの参加者は、広く一般市民から公募する。</p> <p>&lt;テーマ(案)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩市に住んでよかったこと</li> <li>・志摩市の魅力</li> <li>・2030年の志摩市の姿 など</li> </ul>	3月上旬 (予定)
高校生ヒアリング	<p>まちの未来を担う若者から意見を聴取するため、市内の県立高校2校(志摩高校・水産高校)の協力を得て、生徒を対象としたヒアリングを実施する。</p> <p>&lt;テーマ(案)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩市の良いところ</li> <li>・志摩市の良くないところ</li> <li>・将来の志摩市について</li> </ul>	2月下旬 (予定)

### 3 成果の活用

ワークショップ・ヒアリングの結果は、後日とりまとめを行い公表します。

提案頂いた意見は、総合計画検討の資料として、課題や施策等に反映させていきます。

ワークショップ・ヒアリングでいただいた意見は、計画策定の各段階・各場面で参考資料として活用します。